

福祉職員・園芸福祉ボランティアのための

福祉の現場で使える

園芸アクティビティ 20



(編集・発行)

NPO法人奈良グリーンサポートネット

園芸アクティビティで生活を楽しく

花やみどりは人々を癒し、園芸作業はリハビリ効果があると同時に仲間を作り、生活を楽しくします。ハンディキャップを持つ人を対象とする福祉の分野では、このような、生活を楽しくする園芸が特に必要とされます。しかし現状は、園芸は手間がかかる、知識がない、予算がないなどの理由から実施をためらう場合が多くみられます。この「園芸アクティビティ 20」は、誰もが参加でき、少ない予算で易しく取り組めることを目標に編集しました。これを参考にして園芸プログラムを作って実施できれば、対象となる高齢の方や障害のある方に喜ばれ、生活に張り合いと活気が出ることになるでしょう。



季節を感じる園芸アクティビティ

高齢や障がいのある方は部屋にこもりがちになり、季節の変化を感じる事が少なくなります。園芸活動を通じて、生活の中で季節の移ろいを感じる事、五感を刺激することは、心と体を活性化します。

季節の変化とともに植物が成長し、花が咲き、実ることを見守る中で、自分の役割や能力の再発見、認知機能の向上、生きがい・やりがいなどに繋がります。

この園芸アクティビティ 20 では「屋外の園芸」、「屋内の園芸」、「屋内のクラフト」に区分しています。いずれも植物を対象にすることで季節を感じる事ができます。種まきから収穫、それを利用したクラフトまでの連続したプログラムはより一層効果があります。



楽しい園芸アクティビティにするために

園芸アクティビティを楽しいものにするために次のようなポイントがあります。

- ・安全を優先・・・道具の使い方、屋外の歩行、気温変化などへの対応が必要です。ボランティアとの連携などで必要な介助者を配置して、利用者を常に良く見守ることが大切です。
- ・利用者が主役・・・利用者が出来る範囲で無理はしない。しかしちょっとだけ難しい方が楽しいことが多いことを考えてください。
- ・楽しく美しく・・・美しい結果をイメージしながら進めると活動の途中も楽しくなります。
- ・目的を持って・・・参加者それぞれの目標や目的を把握して、計画的な取り組みを考えてください。
- ・工夫する・・・実施記録を取り、自分なりにやり方を工夫すれば自信が付き、参加者にも喜ばれます。



この「園芸アクティビティ 20」は、2011～12年にかけて当団体が、奈良県内の福祉施設 8 か所へ出向いて行った園芸アクティビティから、使いやすい 20 種類を選んで、その内容をまとめたものです。

(この冊子は 24 年度「奈良県中央善意銀行助成事業」で作成しました。記事・写真の転載はご遠慮ください)

(編集・発行)

NPO法人奈良グリーンサポートネット

635-0103 奈良県高市郡高取町清水谷 1020

TEL・FAX 0744-52-3661 Email : eco@naragreen.net

<http://www.naragreen.net/>